

令和8年4月24日

お客さま各位

京都北都信用金庫

### お客さま情報が記載された書類の紛失について

このたび、当金庫（理事長 藤原 健司）におきまして、お客さま情報が記載された書類を紛失していることが判明いたしました。紛失の概要については下記のとおりです。

このような事態を招き、多大なるご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、深く、お詫び申し上げます。今後は、情報管理体制の見直しを図り、再発防止に努めてまいります。

#### 記

#### 1. お客さま情報が記載された書類の概要

##### (1) 該当店舗と紛失した書類

- ① 岡ノ町支店（現：福知山中央支店の店舗内店舗）…「休眠移管不能明細表」
- ② 前田支店…「休眠預金認定口座一覧表」
- ③ 篠尾支店…「休眠預金通知実績一覧表」
- ④ 舞鶴中央支店…「休眠移管済明細表」

##### (2) お客さま情報の記載内容および顧客数

- ① 岡ノ町支店（現：福知山中央支店の店舗内店舗）  
店番、顧客番号、預金科目、口座番号、預金残高 等  
3件（個人のお客さま：3件）
- ② 前田支店  
店番、顧客番号、氏名、住所、電話番号、預金科目、口座番号、預金残高 等  
183件（個人のお客さま：176件、法人のお客さま：7件）
- ③ 篠尾支店  
店番、顧客番号、氏名、住所、電話番号、預金科目、口座番号、預金残高 等  
28件（個人のお客さま：27件、法人のお客さま：1件）
- ④ 舞鶴中央支店  
店番、顧客番号、氏名、電話番号、預金科目、口座番号、預金残高 等  
366件（個人のお客さま：352件、法人のお客さま：14件）

※上記①～④に該当するお客さまには、別途書面にてご連絡させていただいております。

## 2. 判明の経緯および調査結果

令和8年2月に、4店舗において保管すべき、合計580件のお客さま情報が記載された書類を紛失していることが判明しました。

その後、金庫室内や店舗内のあらゆる箇所を捜索しましたが、発見に至っておりません。

## 3. お客さまへの影響および二次被害等の発生状況

当該書類は、誤廃棄した可能性があると考えており、現在までにお客さまの情報が不正に利用されたとの連絡、問い合わせ、苦情等はなく、不正に利用された事実も確認されておりません。

## 4. 再発防止策

今回の事態を重く受け止め、お客さま情報の厳格・厳正な取扱いを再徹底するとともに、書類の保管・廃棄に係る事務手順を見直し、再発防止に努めてまいります。

## 5. お客さまへのお願い

今回の件で、当金庫、警察、弁護士等より、電話等でお客さまの口座番号や口座残高といった情報をお問い合わせすることは一切ございませんので、ご留意をお願い申し上げます。

また、本件に関するお問い合わせをいただいた場合に、お客さまのご本人確認をさせていただきますので、併せてご了承をお願い申し上げます。

## 6. 本件に関するお問い合わせ

電話番号：①0120-4201-05（フリーダイヤル）

②0120-4910-86（フリーダイヤル）

上記②は携帯電話・スマートフォンからは繋がりません。

受付時間：平日 午前9時から午後5時まで（土・日・祝日は除く）

以上